

## 令和2年度実施分協働事業 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	事業担当課	評価(コメント・アドバイス等)
1	災害時要配慮者支援事業	小金原地区会(小金原連合町会)防災部	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本事業の災害時の支援は、協働事業として充分値しますが、コロナ禍で計画が実行できず、事業の進め方で苦労されていたことと思います。</li> <li>●初期行動(ファーストアクション)の流れ・考えは、お手間でしょうが子供でもわかるように簡略化したマンガチックなものを配布されれば、皆さんが自分で自主的に動けるようになるので、支援も多少しやすくなるのではないのでしょうか。</li> <li>●小金原DWATにおいて具体的に各区域の担当者を決めるだけのメンバーが揃っているのであれば、特別支援学校の生徒支援の組織づくりと医療・介護専門職との連携ができるような体制が更に取り入れたいと思います。</li> <li>●「小金原要配慮者支援マニュアル」と「資料集」を作成したようですが、松戸の他地区への普及啓発という意味では、参考になる部分があるかと思しますので、関係者や市民がウェブ等で自由に見ることができると良いと思いました。</li> <li>●マニュアル拝読させて頂き、具体的に作成されていることから、一つのモデルとして他地域への波及効果も期待できると思います。</li> <li>●コロナ禍において、予定していた事業の取り組み等思うように実施できずに大変であった年かと思いますが、そのような中、小金原要配慮者支援マニュアルの作成や研修会の実施など成果をあげられていると思います。災害はコロナ禍等関係なく発生いたしますので、一人でも多くの方にマニュアルを理解していただくとともに、今後も危機管理課と連絡を密に地域防災活動を行っていただければと思います。</li> <li>●今回の事業で要配慮者支援における課題として「守秘」に関することを挙げていますが、その解決方法として「見守り」という概念でフォローするとあり、力強さに期待します。本事業の成果物である「小金原要配慮者支援マニュアル」「資料集」とも、市内他地域や県内で活動する団体にとっても大変参考になるものと思います。市としても積極的に活用することを期待します。</li> </ul>

NO	事業名	団体名	事業担当課	評価(コメント・アドバイス等)
1	災害時要配慮者支援事業	小金原地区会(小金原連合町会)防災部	危機管理課	<p>●小金原地区会と危機管理課の協働事業は、松戸市の協働のまちづくりの好事例です。協働事業で培った縁がこれからも続くことを期待します。併せて、ここでの経験や知見、成果をほかの地域や部署にも広げられることも期待します。</p> <p>小金原地区会の「地域社会を変えるのは、地域住民の主体的な活動から」の気概に敬服いたします。そして、この事業によって見えた課題へ継続的に取り組む際、会だけで抱え込まず、行政(危機管理課ほか)が課題解決にしっかりと動くことを期待します。</p> <p>●地域の防災に尽力されておられる点、すばらしいと思います。防災弱者である「要配慮者」に対しては、行政・地域・住民の連携強化、情報共有(守秘義務の壁もあると思いますが)の、良い実例となるよう頑張ってください。</p> <p>●小金原地区会防災部は長年にわたり、熱心に地域防災事業に取り組まれて来ている事に敬意を表します。地域の方々、専門職、行政機関等との連携が確立できるマニュアル改訂版を拝見しました。今後どう広めるかが課題かと思います(どう実現性があるかも含めて)</p>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
1	地域の学び場創出「寺子屋こあら」事業	明地区こあら食堂の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族の規模が小さくなり、また知り合いの範囲が増々縮まる中、地域交流の場を作って共助することは大変良いことと思います。</li> <li>● ”今後の事業展開”にもありましたが、方向性を探りながら継続することは望ましいのですが、「クイズ、クロスワード」と「作る・実験する等の体験を大切にする」とはかなり方向性が異なると思います。やりながら方向修正する方法もありますが、サステナブルにできるのか心配です。過去の事例を踏まえて、計画を練り直してから動かれた方が良いかと思います。</li> <li>● 保護者からのニーズの高さが伺えますので、今後の活動の発展が期待できるかと思います。</li> <li>● 令和2年度は思うような事業が出来なかったと思いますが、引き続き子どもたちのために継続できるよう取り組んでいただければと思います。</li> <li>● 子ども食堂の実践活動から「学び場」の創出につながり、場を広げることに大きな可能性を感じます。目の前の子どもたちや保護者のニーズに向き合いながら、少しずつ着実に継続できるように期待します。また、コロナ感染防止の方法を様々に検討して、開催することに期待します。</li> <li>● 学習塾と一味違った学びの場が身近なところにあるのは、子どもにも保護者にも大切な取り組みです。明地区にこの寺子屋が定着していく3年先の未来計画を用意して、着実な歩みをされることを期待します。</li> <li>● 地域の子どもの居場所、学びの場の創出に日頃努力されておられること、感謝しています。対面型の学習に力を入れている点であれば、感染防止やコロナ感染者が出た場合の対応マニュアル等完備し、協力対応をしっかりとってください。大変だと思いますが、がんばってください。</li> <li>● 子ども達への学習支援・食の提供等から見える子ども達や保護者の悩み等、専門的につないだ方が良いと判断され、支援する事があるかと思います。この体制づくりを行うことが必要になるかと思いました。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
2	みんなで育て、みんなで食べる 沿道での食べられる景観づくり事業	EDIBLE WAY (エディブルウェイ)プロジェクトチーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>●身近な食物を育てることを通じて交流を図り、共食やクラフト造りまで立ち上げて地域交流のきっかけとする試みは、ユニークだと思います。</li> <li>●活動報告を公共機関等を通じてもう少し広げる(PRする)ことができれば良いと思います。またこの事業を続けて行くにあたって、共同住宅等設置しづらい場所をどうするかが課題と思いますが、イギリス等外国を含めた成功事例があれば活用して欲しいです。</li> <li>●植物を使ったクラフト活動を取り入れる等、地域住民の本取り組みに対する意識の高さが伺えます。今後の活動内容に期待しています。</li> <li>●コロナ禍の中、工夫を凝らしながら活動していたと思います。引き続き、参加者以外の方との交流も深め続けていただければと思います。</li> <li>●コロナ禍で人と人との対面活動が大きく制限され、ご近所でのコミュニケーションも滞りがちでした。そんな中、屋外でプランター植栽がコミュニケーションのきっかけとなり、瓦版、お便りを通してさらにコミュニケーションが豊かになったのではないのでしょうか。また、地域住民にとって千葉大学園芸学部があり、学生が行きかうという地域資源が十分に活かされた良い事業だと思います。</li> <li>●事業名どおり貴団体だけが一人頑張るのではなく、地域の人たちを巻き込むこの取り組みは、団体と地域住民との協働であり、草の根のまちづくりだと思います。松戸市が進める「協働のまちづくり」の好事例であるとも言えます。3年先の未来計画を地域住民と一緒ににつくって、改善点や壁となりそうな懸念要素などを共有しながら息切れしないように活動してください。</li> <li>●大学と地域住民との協働事業という点が、地域課題解決(緑化と食育)に大変良く機能していると思います。特に、地域住民→高齢者の方々にはコミュニケーションツールである「瓦版」や「お手紙」が上手くいっていると思います。大変ですが続けてください。</li> <li>●地域と運営スタッフの皆さんの交流が今後も幅広く深まることを願っています。9月中旬頃、参加者門柱わきに大きなオクラのプランターがあり、目にしました。オクラには「この植物で聞きたい方は声をかけて下さい」とのプラカードがあり、植物よりもこのカードに惹かれました。このプロジェクトに参加している方の心温かさに笑いました。子ども達にも優しいメッセージです。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
3	[生きづらさ・ひきこもり]からだところ に栄養をあたえる場づくり 事業	生きづらわー ほりプロジェ クト	<p>●このテーマは、近年社会生活の変化が大きいことから増々広がる問題だと思しますので、難しいが重要な事業かと思いません。</p> <p>●対話を深めることは賛成ですが、ニーズの窓口を大きく開けるには市と相談し、専門家(医学的見地の持ち主、メンタルクリニック等)による指導を仰いでアプローチの方法を検討し、“ひきこもり”の気持ちを緩ませる方法を色々学んでみては如何でしょうか。</p> <p>●オンラインでの取り組みが、ひきこもりの人に対するアプローチの一つのやり方として前向きに考えることができることから、今後、より効果的な進め方をぜひ検討してその方法を打ち出して頂ければと思います。</p> <p>●コロナ禍で開催も非常に大変であったと思いますが、継続的に実施することで参加者も増加していくと思います。テーマなど工夫を凝らして実施していただければと思います。</p> <p>●コロナ感染症防止のため集まったの飲食が制限される中、オンラインや集まり方の工夫を考えて毎月開催できたことを評価します。特にひきこもり当事者、ご家族にとって1歩でも外部の人と接触することはとても重要なきっかけとなったことを確信します。また、オンライン活用したことで今後の活動に広がりを持たたのではないのでしょうか。</p> <p>●こうした場づくりの取り組みは「砂漠の中のオアシス」だと思います。実存の場とオンライン上の場が持つそれぞれの特性を生かしながら、当事者(その家族も)が自分の都合に応じて選べる形態が標準になると、団体の目指すことの実現がさらに一歩近づくと思います。オンライン化については、自団体で取り組むことのほか、そうしたことが得意な団体に応援してもらい協働の取り組みも選択肢にあると思います。市民自治課やまつど市民活動サポートセンターに相談されるのが良いでしょう。</p> <p>●コロナ禍中でも、オンラインの活用を通じてひきこもりの方々のサポートに尽力されています。その点がすばらしい。ひきこもりの方々が、直接人と会うことのハードルを下げられる点、これからも活用お願い致します。</p> <p>●是非市のひきこもり相談窓口との連携ができる様に努力していただきたいです。対面相談でないと相手の表情が判らなかつたり、読みとれない等の不便さがあるかと思えます。そのため、相談体制に工夫が必要かと思えます。</p>

令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
4	介護予防リーダーの育成と介護予防運動の普及事業	松戸リーダーズクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者を中心とした健康づくりのサポート及び介護予防のレクチャーなど、これからは特に重要な事業と思います。</li> <li>●オンラインによる介護予防体操の参加にはパソコンの知識を少し持っていて、オンラインの環境が整っている必要がありますが、自分が操作できなくてもできる人を一緒に呼び込めれば、対象者を広げられて、より効果的な方法になるのではないでしょうか。</li> <li>●オンラインを活用した体操の内容を幅広く普及拡大するということであれば、今後も、一つのチャンネルとして考え、その効果的な進め方を検討していくことで、多くの示唆が得られると思います。</li> <li>●コロナ禍において、屋外、自宅、オンライン等工夫を凝らしながら開催しており、素晴らしい取り組みと思います。今後も継続していただければと思います。</li> <li>●屋外での青空体操、体力測定イベントに多くの参加者があり、市民のニーズが感じられます。また、オンラインでの開催にチャレンジしたことで今後の活動の継続に期待できます。</li> <li>●介護予防リーダーの育成は、「地域の健康寿命」を伸ばす点において、とても大切な活動です。同リーダーの人数を増やすことと併せて、資格取得後の品質管理にも取り組まれることを期待します。コロナ禍の下で試行したオンライン介護予防体操は、これからの標準的なやり方だと思います。改善しながらその特性を生かした普及活動に励まれるのを期待します。</li> <li>●コロナ渦中での介護予防リーダー育成に、オンラインの活用は正に有効だと思います。「コロナを正しく恐れ、コロナだから出来ないではなくコロナだから工夫して行う」そのものです。頑張ってください。</li> <li>●介護予防事業普及の視点から、配信して一緒に運動しても動きが効果的でなかったり、逆に身体に良くなかったりする動きを、映像から見てとるのは高齢だとなかなか苦労だと思います。大勢の参加者目標数よりも、コロナ禍の中では、例えば町会自治会での小さなグループでの実施でアドバイスしながらの方が良いのではないかと思います。</li> </ul>

令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
5	居場所提供と家出女性保護事業	NPO法人仮り暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家族と孤立して一人で悩んでいる女性にとって大事な役割を果たしている事業だと思います。</li> <li>●今回の発信は、自らのHP,SNSが中心と思われますが、限られた人(10代が多いのは頷けますが)しか発見・接触できないでしょうから、更に貢献するには対象者が発見しやすい工夫(キーワード、写真、マンガチックな表現等)、興味を持つ工夫をされては如何でしょうか。</li> <li>●貴団体の取り組みは、現代が抱える深刻な社会問題を解決していくために重要な役割を担っていると思います。今後も、関係者と連携しながら、ぜひ、心のよりどころとして支えて頂ければと思います。</li> <li>●非常に難しい事業に取り組んでおり、相談件数も大変多くの実績となっております。一人でも多く寄り添っていただければと思います。</li> <li>●非常に重たい今日的なテーマでの活動であり、コロナ禍で困窮する若者、家庭に居場所がない若者の増加は社会課題として顕在化しています。他団体や他機関との連携を担保できれば、相談窓口が地域にいくつもあることが、安心につながると思いました。シェルターの運営など資金が必要な活動であり、助成金の活用を積極的に行い、事業の継続をしていただきたいです。</li> <li>●この事業は、家出女性の灯台だと思います。闇の中を彷徨う人を安全な場所はここにあるよと導く光であり、これから先の自分が選ぶ道筋を照らす光です。警察、弁護士、市役所、ほかの団体などとのチームワークを心がけてリスク予防を図りながら、息切れしないように灯台守を続けられることを望みます。</li> <li>●大変、大切な事業と認識しております。家出の原因「親子相互の不信感」をどう信頼に変えていくのか、ご苦労理解しております。家出の女性達の安全と安心(心と身体の)を守ってください。</li> <li>●支援が必要な方を早く発見し、相談に導く。内容により警察や行政機関との連携は支援される人にとっても「仮り暮らし」のスタッフにとっても安心であり必要と考えます。引き続き密な連携をとり、財政確保の安定と共に進めていただきたいと思います。</li> </ul>

令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
6	坂川水系自然環境向上事業	坂川の花桃を愛する会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境を意識して多世代交流、特に子供たちとの交流を自然環境が豊富な坂川周辺を活用して、現場で行うことは大変意義のあることと思います。</li> <li>●これまで自然と接点を設けた環境啓蒙活動をされていると思いますが、生き物を対象とした子ども向け説明に慣れた専門家を招いて興味を持って継続的に参加してもらえるメニューを考えてみては如何でしょうか。</li> <li>●長期的な視点に立ち、学校や地域の人たちと連携した環境保全活動や地域の活性化・つながりというものを意識して行っている視点が良いと思います。</li> <li>●コロナ禍で集まって活動するのが困難であったと思います。引き続き、地域や学校とともに活動を進めていただきたいと思います。</li> <li>●小金中、小金高との連携した活動がコロナ禍で制限され中止したことは残念でした。しかし、感染状況をみながらサツマイモの芋ほり、花桃捕植、清掃活動が多くの市民とともに実施できたことは次につながることでよかったです。すべて中止になってしまう団体もありますが、再スタートにはエネルギーが必要になるようです。</li> <li>●河川の構造上、住民の心から距離が生じてしまっていた坂川を心の真ん中に引き戻す取り組みに敬意を表します。</li> <li>●坂川の水質改善に役立つ事業、素晴らしいです。特に小学校・中学校にBOD検査をしてもらったとのこと、地域の子どもたちの教育環境にも一役かっています。頑張ってください。</li> <li>●地域や小・中・高等学校を巻き込んだ自然保護活動は子供の発達段階において良い影響であると考えます。コロナ禍の中で中断した事業計画もありますが、継続していく大事さがありますのでつないで欲しいと考えます。</li> </ul>

令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
7	音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●親しみやすい音楽を通じて街や人を元気にしていく活動を7年も継続されているのは立派だと思います。</li> <li>●そもそも人と接触することがベースな事業なので、コロナ禍は残念だったと思いますが、少し緩和されるようになれば即対応可能なように練習等準備をしておいて下さい。</li> <li>●音楽活動では、オンライン活用により進めるのが難しい場合も多いと推測されますが、その中でもできる範囲で試行錯誤されながら進めているのは素晴らしいと思います。</li> <li>●活動がなかなかできなかった中、DVD作成など工夫を凝らしたと思います。練習は今後につながりますので、引き続き取り組んでいただければと思います。</li> <li>●ニコニコ交流音楽会が中止せざるを得なかったことは残念でしたが、今後に向けて合唱練習が進んだことで次に期待します。</li> <li>●会員みなさんが練習を続けた姿勢に敬意を表します。「練習は裏切らない」の言葉どおり、音楽会やコンサートなどの晴れの舞台で会員の実力が多くの人を魅了することを楽しみにしています。</li> <li>●コロナ渦中でも動画制作として、福祉施設に配布されている点、工夫されていることが良くわかりました。前向きなのがすごいです。特にリアルに練習されている点ですが、コロナ感染防止策の徹底を今後も続けてください。</li> <li>●楽しく歌うことで元気を貰い、歌う事で元気を出す。音楽活動の良さがコロナで急変しました。会ではリモートでの工夫もされた様で、苦労はあったかと思えます。引き続きの活動を期待します。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
8	冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊びを通じて体験、体感し、学び、他人との交流により社会を少しでも理解して成長させる機会を造るという企画は、今後も続けて行って欲しいと思います。</li> <li>●親の理解も必要と思いますが、焼き芋の火起こしや竹馬等他者と体験を通じて新たな成長に寄与できるような活動を続けて下さい。</li> <li>●オンラインを活用した新しい進め方も考えているようですので、今後の多様な視点を持った活動の発展が楽しみです。</li> <li>●令和2年度は思うような事業が出来なかったと思いますが、この経験を活かし、引き続き事業に取り組んでいただければと思います。</li> <li>●子どもたちの遊びも制限されているときであり、焼き芋の集いに多くの参加者があったことはニーズを捉えたよい企画でした。素敵な案内チラシですね。</li> <li>●「冒険山」と聞いただけで気持ちが高揚します。委員会の取り組みと成果によって、学校の先生たちと保護者、ほかの団体が、理解者や参加者からこの活動を一緒に盛り上げる当事者になっていくことを期待します。</li> <li>●コロナ渦中の子どもの親世代へのズームミーティングの実施や、学校と一緒に草刈り、焼いも体験、ともに工夫が見られます。頑張ってネットワーク作りを続けてください。</li> <li>●コロナ禍の中で、学校にも配慮しながら外遊びで子供達のエネルギーと関心を引き出す「焼き芋の集い」に喜ぶ子供達の顔が浮かびます。地域に定着した会の活動の継続を期待します。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
9	イベント型+交流型の居場所「悠々」の提供事業	NPO法人さわやか福祉の会・松戸くらしの助っ人	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅や産前産後の家事援助、病院等の介助移動等、頭の下がることをされていると思います。</li> <li>●ロコミ以外のPR方法は、地域のミニコミ紙(UKIUKI等)や近傍の駅やバス停などにチラシを貼って(又は置いて)は如何ですか。</li> <li>●これまで貴団体のイベントに参加してくれた人に広告塔になってもらう等、広報戦略をより意識して取り組んで頂ければと思います。</li> <li>●コロナ禍でイベント等なかなか開催が難しかったと思いますが、居場所は大切なところですので引き続き継続していただければと思います。</li> <li>●リピーターさんが継続して通所できることは大切なことであり、その方からロコミで少しずつ広がることでいいのではないかと思います。多くのイベントで多くの人に参加することよりも、より深い寄り添いの場であることを期待します。</li> <li>●イベント型の悠々は再来率が高い事業であるとデータから判りました。とても凄いことだと思います。一方で、イベント型中心の事業でない新しい切り口を試行する計画でしたが、イベントがないと「おしゃべり広場」が不発になる構造的な問題が明らかになりました。イベント型も交流型も大切な事業であると理解していますが、今後の軸足をどこに置くかを団体内で検討する良い材料になったと思います。</li> <li>●コロナ渦中にあっても、工夫を忘れずに、頑張っ活動をして下さり、ありがとうございます。日々コツコツと続けることが、交流型の居場所の強みです。イベント型はコロナ禍でやり方を考えて、感染防止につとめてください。</li> <li>●「イベント無しのおしゃべり広場」には参加者が少ないとあり、呼びかけにホームページ・フェイスブック・会報を使用しているとありましたが、高齢者に呼びかけるには難しい手段(会報を除いて)かと感じます。開催場所の工夫を(外での移動開催とか、近距離での開催とか)行うのも良いと思います。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
10	働くおとなの ホッとできる 居場所づくり 事業	まちなす・ Labo	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナの影響により事業内容をフレキシブルに修正され、少しでも参加できるように努力されている様子が伺えます。また、気楽にあまり人に話せない相談に乗ってくれる場を提供してもらえるのは貴重です。</li> <li>●働く大人をメインにするのであれば、回答されているように健康福祉センター、ハローワーク、サポセン、支援センター等に、“心の相談室(大人専用)”などでチラシを配布するとともに窓口に来た人に対象者が居れば紹介してもらおうようにしたら如何でしょうか。</li> <li>●貴団体のファンを増やしていくためにも、参加した人をうまく活用して講座の魅力等を発信してもらうことも検討すると良いかもしれません。</li> <li>●コロナ禍において、参加者を増やすのは大変かと思いますが、PR方法等工夫を行い継続していただければと思います。</li> <li>●団体の主旨である働くオトナにアプローチするための広報について、さらに工夫することを検討してください。健康福祉センターや商工振興課もいいが、ダイレクトに情報が届く場所として、美容院、商業施設、医療機関などにA4ではなくカードサイズなど小さなもので個別に手に取れるものがないのではないのでしょうか。</li> <li>●専門職(看護師)ならではの切り口は、独創的で個性的だと感心します。「働く大人の保健室」(ホッとできる居場所)の周知は、当初からの課題ですが、SNSの活用がその解決につながることを期待します。</li> <li>●町中であって、気軽に参加できる工夫を、ぜひいま一步踏み込んで進めていただきたいです。コロナ渦中のため、よりストレスを抱えた働き世代の男女が多くいるはずです。頑張ってください。</li> <li>●松戸市の健康診断受診率は千葉県の中でも下の方にあるかと思いますが、「働く大人の保健室」の目的達成には、開催場所の工夫の必要かと考えます。帰宅時に合わせた場所探しは、困難さもあるかと思いますが、昼間相談の行政との連携も併せて考えてみては如何でしょうか。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
11	子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てしながら親子で一緒に楽しめる環境づくりを目指す事業は、少子・小家族化の中では、助けられる家族も多いと思います。</li> <li>●今回コロナ禍で試行錯誤しながら体験されたことで、オンラインでの最適化や切実な声を聞いてサポートの必要性など、団体としてレベルアップされたことと思いますので、更に飛躍することを期待しています。</li> <li>●オンライン開催のメリットもあるようですので、対面でできるようになったとしても、対面とオンラインのハイブリット形式で進めると、活動の相乗効果が見込まれるものと思っています。</li> <li>●令和2年度は事業の実施等思うように出来なかったと思いますが、引き続き感染対策等経験を活かし実施していただければと思います。</li> <li>●コロナ禍での活動のニーズやオンライン開催の強み、弱みを十分に把握できたことは、さまざまな展開の工夫をしてチャレンジされたことによって獲得できたのではないかと考えます。今後につながる貴重な1年間でしたね。</li> <li>●2020年度は特異な状況での事業実施でしたが、「ピンチをチャンスに」の如く団体で柔軟に対応する適応力を磨く機会になったと思います。貴団体を取り巻く環境変化は、必ずしも団体にとって好ましいものばかりと限らないでしょうが、コロナ禍で得た適応力を団体の強みとして息長く活動を続けていかれることを期待します。</li> <li>●オンライン開催のメリット(感染を心配しないで参加できる点や気軽に参加できる等)を最大限に活かして、はじめて参加される方を増やす工夫をされた点、素晴らしいです。頑張ってください。</li> <li>●子育て世代の孤立、子供達のコミュニケーション不足が加速しているとあります。安定した事業展開のために、貴団体事業と他団体事業とのコラボもできるのではないかと考えます。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
12	野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！地域猫スタート相談会事業	松戸地域猫スタートサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域猫を通じて環境教育・保護の普及啓発、市民協力の輪を作ることは良いことと思います。</li> <li>●地域猫の相談は、人により長時間束縛されると思いますが、これまでの経験から工夫して手短になるように受け手も考えないと、別の人に割く時間や自分の時間が生まれなくなりますから、気を付けて今後の対応をしてください。</li> <li>●地域猫の課題について町会長さん等のキーパーソンをおさえ、また、多くの人たちを関わりながら進めており、今後の活動の一層の発展が期待できると思います。</li> <li>●地域猫は課題がいろいろ多く大変かと思いますが、引き続き周知を進めていただきたいと思います。</li> <li>●継続した活動により着実に信頼を得て、活動が広がっていらっしゃることに期待しています。さらには、地域猫相談員の育成にも取り組んでいただければ、より多くの地域での取り組みになるのではないのでしょうか。地域猫活動の課題を解決するには膨大な量の活動が必要なので、人材育成が必要になります。</li> <li>●この事業は、松戸市内に地域猫活動の基盤をつくる取り組みだと理解します。地域猫の理解者と活動の担い手を増やし、3年後の地域猫活動のありたい姿を描く未来計画をつくられることをお薦めします。</li> <li>●きちんと質問に回答してくださりありがとうございます。コロナ渦中でありながらも、実際に対応をせまられる状況がよくわかりました。地域のニーズに応えてくださっている様子ですが、コロナ感染症防止もぜひ心がけて行ってください。</li> <li>●地域の環境衛生改善のための活動(糞尿被害、猫のエサやり、敷地内で産まれた猫、好きな人とそうでない人とのトラブル解決)は地域に根ざした貴重な活動だと思います。年々地域での認知が高まり必要性を行政も市民も評価していると思います。引き続き努力してほしいと思います。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
13	プレママ教室事業	ふふふママ大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●核家族で親戚づきあいも少なく、お産前後の相談に乗ってもらえる機会が少なくなった今、プレママ・プレパパ教育活動は貴重な存在だと思います。</li> <li>●PRする時に、松戸市が力を注いでいる「子育てしやすい街」のランキングが高い理由(制度、補助金、サポート体制等)及び相談窓口の紹介を大きく扱っては如何でしょう。(=安心して子育てができるバックグラウンドがあるということ。)因みに今年は、「第2回日本子育て支援大賞2021」を受賞しています。</li> <li>●オンライン終了後に感想や意見の返信が25%もあったのは、評価されて良いと思います。また、自分たち以外の同様な立場の人の体験や工夫は、大変役に立って次への広がりを感じます。</li> <li>●動画の「ビジュアル講座」のプレパパに配慮した取り組み「パパになる気持ちの準備」は、とても良いと思いますので、ぜひ継続して下さい。</li> <li>●コロナ禍においても工夫を凝らしながら実績を上げていると思います。引き続き継続していただければと思います。</li> <li>●対面活動を動画配信に切り替えて活動したことは、今後の団体の活動にとっても有意義であったと思います。広報活動は、チラシ配布を基本にするなら他情報が多い店舗ではなく、ゆっくりする場所など検討を。SNSの活用も効果的ではないでしょうか。発信頻度を上げるなどきめ細かな情報提供で効果的だと思います。</li> <li>●プレママ、プレパパを対象とする取り組みは、貴団体の特色ある事業だと思います。ビジュアル講座に切り替えたことで得た経験や知見などは、想定外のことに対応する団体の適応力を養う機会になったと思います。今後は、団体の適応力を磨いていくこと、オンラインの可能性と留意点、対面式の良さと制約などを踏まえて、事業を実施する団体のやり口を増やしていくことを期待します。</li> <li>●コロナ渦中のため、対面講座からビジュアル講座に切りかえたとの事で、活動の歩みをとめない点が優れています。そのメリット(参加しやすい点)とデメリット(感想が返ってこない点)をよく考え、改善を行ってください。「先輩ママの体験談」はその良い事例ですね。</li> <li>●会の活動認知が得られないとの事、PR方法の一つとして「松戸市子育てガイドブック」への掲載等行政への働きかけを考えてみてください。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[スタート助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
14	歴史ある団体や地域企業と協働による地域発展事業	北小金ドリームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 駅周辺で、自分達が地域の振興・経済発展・維持に寄与し、次世代に繋ぐ試みは喜ばしいことと思います。</li> <li>● 現場で実施するイベントが中心となるため、コロナの影響がダイレクトにあったことは否めませんが、別の形(飲食店応援プロジェクトのように)で、SNS等を活用して街の良さ以外に、歴史文化を含めた周辺の紹介を近隣県や市町村にアピールしてみても如何でしょうか。</li> <li>● SNSをかなり利用されているようですが、フォロワーの感想を読んでも期待感があるようなので、YOU TUBEなどで紹介ビデオを使ってファンを増やしてみても如何でしょうか。また高齢者には、ハローワーク、地域コミュニティーセンター等行きそうな場所に次回の予告や連絡先の入ったチラシを置いてもらっては如何でしょうか。</li> <li>● 写真によるSNS発信は、効果がありますね。今後も魅力的でワクワクさせる写真をとりながら、フォロワーの増加による同地域の活性化によりつながることを期待しています。</li> <li>● コロナ禍でイベントができない中でも、SNSを活用しフォロワー数1500人と成果を上げていると思います。今後も広めていただければと思います。</li> <li>● 北小金応援プロジェクトでの情報発信は、地域にこだわらず全国に発信できる優位性があり、より具体的な情報を定期的にアップすることに期待します。</li> <li>● 2020年度は事業実施に辛い時期でしたが、SNSを駆使して提案事業の趣旨を遂げようとした努力に敬意を表します。対面式の魅力的なイベントを仕掛けることと併せて、今後ともSNSの特性を生かして貴団体の取り組みに厚みが増すことを期待します。</li> <li>● SNSとリアルのチラシ併用型のインフォメーションが上手いっています。ぜひ工夫をしてコロナ渦中でも活動を広げる努力を続けてください。頑張ってください。</li> <li>● SNSでの発信と、飲食店へのチラシ配架だと多くは飲食店に行かないとチラシを手取る事が出来ないと思います。イベント配布以外で定期配布、設置できる場所(例えばバス停とか美・理容室とか)の工夫が必要ではないかと思います。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
1	外国人の子どものための新教室設立事業	認定NPO法人外国人の子どものための勉強会	<p>●具体的に子どもに教えている内容は良く判りませんが、かなりフレキシブルな対応が必要ではないかと伺えます。ご苦労様です。</p> <p>●日本語だけで学校の勉強や食事を含む日常の問題など、子ども個々により問題が異なり、個別に解決するのは大変なエネルギーと時間が必要で大変ですが、協力者や使える補助等を知恵と情報をできるだけ活用して良い方向に進めてください。</p> <p>●松戸市において国際化が進む中、外国人が住みやすいまちづくりを進めていくためにも、貴団体が地域の日本語教育に果たす役割はとて大きいものがあると思いますので、引き続きがんばって下さい。応援しています。</p> <p>●コロナ禍においても、順調に事業を推進しておられます。日本語が話せない子どもたちがいるなど苦労も多いかと思いますが、引き続き子どもたちのために進めていただきたいと思います。</p> <p>●日本語ボランティア養成講座の開催で10名のボランティアスタッフが誕生したこと、新教室が開設できたことを評価します。</p> <p>●学校教育の制度が追い付かず取りこぼされがちな外国由来の子どもの課題に長らく取り組まれていることに敬意を表します。貴団体の事業によって、学力と人間関係などの点から子どもたちの未来の選択肢が広がっていくことを期待します。</p> <p>●コロナ渦中の外国人家庭の子どもの大変な現状が良くわかりました。今度とも活動を頑張ってください上で、松戸市役所との連携を広げてサポートしていただく等、よろしく願いいたします。</p> <p>●20年以上外国人の子ども達への学習支援をしている事に敬意を表します。日本語の学習、習得が生活上重要であり、自立のための支援と考えます。子ども達の日本語の習得が、引いては日本生活に慣れていない親の手助けにもなります。財政的支援、生活上のアドバイスも含め、今後とも幅広い活動を支援したいと思います。</p>

## 令和2年度実施分助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
2	松戸市における災害支援の文化を創造する事業	特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター	<p>●各種災害が増え広がる中、災害時の支援活動は重要なことであり、地域の協力は不可欠と思いますが、支援の主体となる松戸市、NPO、市民活動団体にレクチャーしてもらうことは有難いことと思います。</p> <p>●リモート開催時等はNPO、市民活動団体以外にも松戸市の広報等で関心のある一般人も参加できるようにしてもらえば輪が広がり、災害支援の意識も高まり、全体的な広がりが出てくるかと思いますが如何でしょうか。</p> <p>●発災時は自分たちのこともあり、直ぐには行動できないと思いますが、支援主体となるべき組織との連携が取れていて、直ぐに行動が取れるような輪を期待しています。</p> <p>●多様な主体のエンパワーメントの意識の醸成を図るためのネットワークの構築・強化が進むことを期待しています。</p> <p>●コロナ禍で思うように活動できない中、リモートも含め講座、講演会、ワークショップなどを開催し、参加者も129名の実績となっております。災害はいつ発生するかわかりませんので、引き続きの活動を期待しております。</p> <p>●事業のテーマである「災害支援の文化を創造する」という入り口の事業として、種をまくことはできたのではないのでしょうか。市内で活動する他団体、小金原地区会防災部もあり市内でのネットワークの構築につなげていただくことに期待します。</p> <p>●貴団体の災害時における対応力に係る問題意識は理解します。難しい問題に取り組もうとしている貴団体の姿勢に敬意を表します。 市内の市民活動団体やNPOや地域団体が災害時に組織として対応力を発揮する場合、何が壁になるのかをよく把握し、当該団体の人たちの共感が得られる切り口で、対応力の醸成に取り組まれることを期待します。</p> <p>●コロナ渦中に活動を続けていく工夫を行っている点が素晴らしいです。また、「災害に対する関心の低さ」に対する課題として「直接被災した経験がないことが大きい」と回答してくださっています。経験者のお話を聞く会など行ったらいかがでしょうか。</p> <p>●災害時の対応は地域や多くの関係機関で組織化され、体制づくりがなされていると思います。貴団体の強みを活かした連携をして、実施体制づくりをしてはいかがでしょうか。</p>

## 令和2年度実施分助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
3	よく生き、よく逝くための基礎知識普及事業	一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●終活の基礎知識をレクチャーしてもらうことによって残されたものも助かり、本人も自分の意図する方法で終末を迎えることができ、トラブルも少なくなると思います。</li> <li>●孤立している高齢者、障がい者にとって平時からのケアは重要な役割を果たすと思いますが、対象者の居場所や相談に乗れるような連携が地域包括支援センター等と取れ、生前基礎知識を少しでも多くの人に行き渡るような活躍を期待しています。</li> <li>●参加者がエンディングノートを記入する上での難しさを克服できるよう、その進め方を引き続き検討して頂ければと思います。</li> <li>●基礎知識の普及については、必要性の高いものであり、参加者のアンケートでも非常に多くの方が満足しておりますので、引き続き取り組みを進めていただきたいと思います。</li> <li>●エンディングノートの作成は必要なことと理解しても、なかなか実際の記入になると腰が引ける経験をしています。「人の死」というマイナスのイメージがあり、一般化するにはハードルが高いと感じます。さらなる研究で親しみやすいものの作成に期待します。</li> <li>●事業名の「よく生き、よく逝く」から読み取ると、「自分らしく死ぬ」ことは「自分らしく生きる」ことの対だと思えます。貴団体が進めるエンディングノートを書く行為は、自分がきちんと生きる棚卸と道筋をつける前向きな行為だと解釈します。エンディングノートは、70歳代や80歳代の人だけの話でなく、60歳代や50歳代にとっても大切なものだと理解が広がるような普及啓発活動に期待します。</li> <li>●コロナ渦中での活動に対する具体策の検討がきちんと出来ています。その点がすばらしいです。その上で実践に頑張ってください。(アンケート結果の添付でよく活動内容がわかりました。)</li> <li>●介護保険制度と同時に成立した成年後見制度は、20数年経過していますが認知度が低いとされています。死後の事を生前から、しかも自ら決める準備を行う文化が、日本人には馴染まないという説もありますが、必要度は高まっていると考えます。今後「エンディングノートを作るのはゆっくりで良いので考えて下さい！」という伝え方も有りかと思えます。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
4	ギャンブル依存症予防啓発事業	公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この事業は、ギャンブル依存症の関係者にとって予防・啓発活動として重要な役割を果たしていると思います。</li> <li>●質問にもあったように折角の機会に松戸市民の参加が少ないのが気になります。少しでも情報を水平展開するために鉄道、バス等の交通機関やスーパー・コンビニ等にチラシの設置場所を設けられるように交渉するとともに市役所とも、もう少し相談されては如何かと思いますが。</li> <li>●貴団体もギャンブル依存症予防に関する専門家の集団だと思いましたが、当該テーマを専門としている行政や専門家、団体等との情報共有や連携をすることで、活動の幅が広がっていくものと期待されます。</li> <li>●ギャンブル依存症については本人のみならず家族を含めお困りの方が多いと伺います。一人でも多くの方の助けになるよう継続していただければと思います。</li> <li>●ギャンブル依存症という潜在化している問題を取り上げていただいたこと、まずはよい機会をいただきました。今後はケア体制をどうすればよいか、ピアサポートグループのことなども関わっていただければと思います。</li> <li>●ギャンブル依存症の正しい知識、治療法、予防法を普及する団体の事業は、ギャンブル依存症に対する社会的な理解形成と当事者や家族への差別や排除を抑制するのに重要なものだと思います。長い時間の要する問題ですが、継続的に取り組んでいかれることを期待します。</li> <li>●コロナ渦中にもかかわらず、講座の参加者数の多さには関心の高さがよく表れていると思います。今後の活動を頑張ってください。</li> <li>●家族支援を通じて、本人を回復に導く相談機関は結構できており、家族にとっては心強いと考えます。相談等には時間を有し、根強い支援が必要と思います。支援の継続をお願いいたします。</li> </ul>

## 令和2年度実施分助成事業[ステップアップ助成] 協働のまちづくり協議会からのコメント

NO	事業名	団体名	評価(コメント・アドバイス等)
5	笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者施設でいつも活動されるボランティアの人には、対面式の現場が使えず残念だったと思います。また心待ちしていた施設の高齢者にとっても公演が観られなくて残念だったことと伺われます。</li> <li>● 平均年齢の高い部員のモチベーションを維持するための方策と市の助成以外の他の活動助成制度の取得と活用後の報告書作成等が大変でしょうが、楽しみにしている方たちのためにも今後の活動も期待しています。</li> <li>● 新しく作成したプログラムの内容は、とても面白そうに思います。今後、ぜひ、実現させて頂ければと思います。</li> <li>● コロナ禍で思うように活動できなかつたところですが、楽しみにしている方が多くいると思いますので、引き続き事業に取り組んでいただきたいと思います。</li> <li>● コロナ禍で公演会中止は残念でしたが、新作プログラムを作成し、練習することで会員のモチベーションを維持してきたことは必ず次につながると期待します。ファンの方々も笑劇を待っていると思います。</li> <li>● 2020年度は苦しい時期でしたが、会員のみなさんの気持ちをつなぐ努力をされたことは、練習や舞台と違う形で団体の求心力を増進したと思います。生の舞台を重視する貴団体の姿勢に敬服します。以前のように練習を重ね、「練習は裏切らない」の言葉どおり生の舞台上で会員の力が発揮されることを期待します。</li> <li>● コロナ感染症防止の中での活動は大変ですが、色々な方のサポートや連携を考えていただくと良いと思います。DVD制作はその技術にたけている団体との連携で実現してください。</li> <li>● コロナ禍の中での活動停止状態は、全員の健康やモチベーションが気になるところです。負けずにご活躍いただきたいと思います。</li> </ul>